

藤沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット

2015年4月1日

第251号

主な
記事

- ・市議会議員立候補予定者に公開アンケート
- ・道東の大雪とジャガイモ栽培
- ・放射能測定値

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

現在の教育環境は？

～川崎の中一殺傷事件に関する一考察～

川崎において中学校一年生の上村遼太さん13歳が殺害された事件は全国に衝撃を与えました。特に上村君が在籍した中学校ではその対応に苦慮したものと想像しています。私は1987年に東京の公立中学を退職しています。

当時は、中学校における校内暴力の問題が社会問題化しており、特に教師に対する反抗の問題が各中学校にありました。この件の生徒指導に関しては各校ともに悩みました。しかし、多くの学校では校長以下教職員全員でその指導、解決に向け取り組んだものでした。

私の勤務した中学校でも職員会が頻繁にもたれ、学年会に至っては連日のように開かれた時期もありました。それでも、全教職員の協力により、問題生徒の多くは無事立ち直って卒業していくケースがほとんどでした。

ところが、現在の教育現場はどうなっているのでしょうか。ある情報によりますと「うつ傾向の自覚症状を訴える教員は一般企業の2.5倍になる」と言います。また自分の娘が教師を希望したのに対し「苦しいことばかり多いから止めろ」と制した女性教師の話も聞きました。教職員組合の実態もない学校現場も多いと聞きました。

そういう中で今回の川崎での事件が起きました。また、「人を殺してみたかった」（名古屋の女子大生）また、校内のいじめの中で自殺していく生徒など。「人の命は地球より重い」という言葉は死語になってしまったのでしょうか。

受験やいじめ等いろんな原因があるものの2013年には546人の子どもが自殺しています。心の居場所がない、人生の目標がない、他人から必要されていないなどの共通した原因もありますが、他人を殺してしまうのはごく僅かです。

このような大きな問題を学校教育の現場のみで対策を考えるというのはどうしても無理な話です。なにより「社会から必要とされている」と思える環境づくりをして社会全体で考えていくべきだと思います。

(上野武雄)



ヒヨドリ (長久保公園にて 矢板氏提供)

市会議員候補者への環境・開発問題 公開アンケート

2015.4.1

質問	1. 取り組みたい環境問題	2. エネルギーの地産地消の取り組み					3. 防災対策				4. 公共施設への関心				5. 相鉄延伸計画				6. 大気汚染への取り組み			
		①	②	③	④	⑤	公共施設の耐震	津波対策にGPS波浪計設置	急傾斜地対策	その他	藤高跡地	市役所本館	藤沢公民館と労働会館	市民会館と南図書館	その他	辻堂まで延伸	寒川まで延伸	計画に反対	どちらとも言えない	市民の調査を参考に取組み	必要ない	分からない
名前	※下らんに記載																					

50音順 敬称略

1	岩沢ゆうき	1.2.6.7.11	○	○		○				○		○					○			○		
2	酒井信孝	1~12				○	○	○			○						○			○		
3	竹村雅夫	3.10.12				○		○						○				○				○
4	土屋俊則	5.6.8.						○					○						○	○		
5	西貝和男	1.2.3.4.5.8.11		○	○			○	○				○	○			○				○	
6	浜元輝喜	2.6.7.	○	○	○		○				○					○				○		
7	原田伴子	1.2.11	○				○			○		○				○				○		
8	東木久代	1.2.3.5.6.7.11			○	○	○							○			○					○
9	味村耕太郎	1.4.5.7.10.11	○			○	○	○				○							○	○		
10	柳沢潤次	3.5.					○	○			○							○		○		
11	柳田秀憲	2.5				○	○	○						○	○	○						○
12	山内幹郎	1~12	○	○	○	○	○				○								○	○		

※ ①地球温暖化防止 ②エネルギー・農水産物の地産地消 ③緑地保全 ④生物多様性の保全
⑤ごみ問題 ⑥開発問題 ⑦交通体系整備 ⑧武田安全問題 ⑨大気汚染問題 ⑩放射能問題 ⑪地震津波対策 ⑫その他

※立候補予定者39名にお送りし、12名にお答えいただきました 外の方にはお答えいただけませんでした

市議会立候補者への環境問題公開アンケート

藤沢環境運動市民連絡会議（略称 藤沢エコネット）

4月26日は藤沢市議会議員選挙が実施されます。藤沢市は、緑地の保全、ごみ減量、放射能汚染問題、ダイオキシン問題、津波防災対策、地球温暖化対策など様々な環境問題に取り組みながら、行政と市民がそれぞれの立場で、あるいは協力して、良好な都市づくりを目指しています。

当会、藤沢エコネットは、市主催ふじさわ環境フェアに毎年協力し環境啓発と環境教育に取り組むと共に、1994年創立以来「環境都市ふじさわの実現」に向かって、学習会や見学会、ニュース発行など、情報交換や提言活動を行っています。現在課題となっています次の環境問題について、ご意見をお聞きしたいと思います。

明確に○をつけてご回答いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

（質問は次ページ）

7. ごみ有料化			記入欄
有料化を廃止	当面半額に	このままでよい	

		○	問3 津波避難施設整備補助
		○	問1 環境保全型農業の推進
		○	問1 ゴミ処理のあり方検討 問5 推計が甘すぎる
	○		問5 住民合意が必要
		○	
		○	問1 保育園待機児解消 特養ホーム 産業・スポーツ振興
			問3 教育 ペットの保護 共生の仕組み作り 問7 減量分に応じた 値下げ
		○	
	○		問5 住民合意が必要
○			
	○		問4 美術館等の新設
○			問1 横浜藤沢線道路の見直し 問5 住民合意必要

質 問

質問1. 市議会議員に当選した後、取り組みたい環境・防災問題に○をつけてください。(複数可)

1. 地球温暖化防止と低炭素都市藤沢をめざす(自然エネルギー、太陽光発電など)
2. エネルギー・農水産物の地産地消
3. 緑地、谷戸の保全
4. 生物多様性の保全
5. ごみ問題(減量や有料問題等)

6. 開発問題(新産業の森、村岡新駅、相鉄の延伸など)
7. 交通体系の見直しと整備(歩道、自転車道、車道の分離など)

8. 武田薬品バイオ研究所の安全問題

9. 大気汚染問題(光化学スモッグ PM2.5 等)

10. 放射能問題

11. 地震・津波などの防災対策 12. その他

質問2. 藤沢市として「エネルギーの地産地消」プロジェクトの取り組みが始まりました。5つの重点プロジェクトについて、取り組みたいものをお選び下さい(複数可)

①太陽光発電システム導入による地産地消

②燃料電池導入拡大

③ガスコージェネレーションシステム導入促進

④新電力活用による電力の地産地消

⑤市民主体型エネルギーの地産地消の仕組みづくり

質問3. 防災対策として先ずすすめたい施策ひとつをお選び下さい

①公共施設の耐震強化対策 ②津波情報の早期伝達のためGPS波浪計の設置

③急傾斜地不安定地盤対策 ④その他

質問4. 問題になっている公共施設について関心のあるものを一つお選び下さい

①藤沢高校跡地 ②市役所本館建設 ③藤沢公民館と労働会館合築 ④市民会館および南図書館老朽化 ⑤その他()

質問5. 相鉄の延伸が湘南台から慶応大学まで計画されていることについて、どのように考えますか

①辻堂方面まで延伸するとよい ②寒川方面まで延伸するとよい ③計画に反対 ④どちらともいえない

質問6. 大気汚染について、大気汚染が原因の一つと言われる児童のぜんそくが毎年増加の傾向です。市はNO2市民調査を重視して調査・対策をとるなど市民とともに大気環境の環境保全に取り組むべきと考えますか。

①市民調査を参考にして大気環境の環境保全に取り組むべき ②市が調査しているので市民調査は参考にする必要がない ③わからない

質問7. ごみ有料化について

①有料化を廃止 ②当面半額にする ③このままでよい

ご協力ありがとうございました。

2015年3月2日

道東の大雪とジャガイモ栽培

昨年来、北海道の道東地方で降雪の頻度と積雪量が
増大している。十勝平野周辺では、平年では積雪量は
それほど多くない。従って、放射冷却により地温は非
常に低下する。帯広のアメダス地点の積雪深をみると、
平年（1981年～2010年）の3月中旬の積雪深は12cm
だが、今年は3月12日現在で69cmである。5倍以上
の積雪深となっている。

低気圧の通過道が変化して日本列島の太平洋側を
北上する頻度が増している。温暖化で海面温度が高い
ために低気圧は急速に発達し、北海道の東部では風雪
に見舞われる日が非常に多い。地球温暖化と同時に進
行している異常気象といつて良いだろう。

十勝平野では、ジャガイモの栽培への影響が気がか
りだ。普通は雪が消えた4月中旬ごろに種芋の植え付
けを行う。ジャガイモ畑では、雪が残っていると雪面
上に日射を吸収しやすい黒色の融雪剤を散布して雪
を無くし広大な畑を管理する。今年の雪はいつまで
のこるだろうか。

もうひとつの心配は、ノライモだ。冬の期間に積雪
が多いと、地面が雪の布団に覆われるため地温はあま
り低下しない。すると、前の収穫で取り残したイモが
春まで生き延び、新しく植えた種芋と同時に芽を出す
ことになる。ノライモが増えると品質が低下してしま
う。積雪で十勝平野の地温が下がらない現象を介して、
地球温暖化がジャガイモ栽培へ負の影響を及ぼすこ
とになる。（NPO法人シティ・ウォッチ・スクエア
理事長 林 陽生）



放射能測定値

3月に市民が計測しました

（HORIBA Radi）単位（ $\mu\text{Sv/h}$ ）

藤沢駅地下歩道柱そば	0.081
地下道ビッグカメラ入口	0.065
遊行通りレディオ湘南前道路	0.050
〃 植え込み	0.062
片瀬中学南側歩道	0.041
片瀬山湘南白百合学園入り口	0.042

ECONET INFORMATION

アースディ大船観音 4/19（日）10:00-17:00

大船観音には「原爆犠牲者慰霊碑」があり恒久平和を願
う人たちが参拝します。そこでイベントが行われます

入場無料（拝観料 大人300 小中学生100円）

主催／イマジジンさがみONE 0466-82-1702

「憲法・集団的自衛権・アジアの安全」

4月29日（水・祝）13:30-藤沢市民会館

講演 孫崎享さん 参加費500円

主催藤沢9条の会 TEL0466-34-5843

「小さき声のカノン」上映実行委員会

被爆から子どもを守る母たちのドキュメンタリー映画

4月22日（日）10:00-12:00

市民会館第3会議室（3階）



第1回水素エネルギーセミナー

4月24日（木）13:30-16:40（受付13:00-）

横浜国立大学教育文化ホール大集会室 無料

申込み E-mail: yuvec02@ml.ynu.ac.jp ■定員 300名

・「水素の爆発特性とリスク管理」「神奈川県のエネ
ルギー施策について」ほか「燃料電池自動車」を展示

主催よこはま水素エネルギー協議会（運営法人：NPO法人 YUVEC）

電話：045-340-3981 FAX：045-340-3982

藤沢エコネットから

会費・購読料の納入をお願いします

ゆうちょ銀行（9900）店番（029）

当座預金 0046501 7373102

（従来用紙の方法も利用できます）

会員募集＝年会費・購読料→3000円

◎事務局会議 4月10日（金）10:00-

市民活動推進センター

《編集後記》今月は選挙の月、4月12日県知事県議
会選挙、26日は藤沢市議会選挙です。市議会立候補者
に出した環境に関する公開質問状の結果をまとめ
ました。回答が少ないのが残念でしたが、大気汚染
について、N02 市民調査の結果を参考にして「環境
保全に取り組むべき」が比較的多く、市民と共に問
題に取り組む望ましい姿勢を感じます。（A）